

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年3月25日

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	C
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進				
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進				
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属 林務課
事業名	令和5年度諏訪湖カワアイサ対策生態調査事業			電話	0266-57-2919(内線2399)
				E-mail	<a href="mailto:suwachi-rimmmu@pref.nagano.lg.jp">suwachi-rimmmu@pref.nagano.lg.jp</a>
事業の概要等	目的 (目指す姿)	諏訪湖創生ビジョンに掲げた「豊かな漁場環境が再生され、ワカサギなどの漁業資源が持続的に利用されている」、「生物多様性に適した湖岸の環境が維持・整備され、多様な鳥類が生息している」という2つの目指す姿の達成に向け、魚食性鳥類の効果的な追払い方法を検討し提案する。			
	現状と課題	・諏訪湖に飛来するカワアイサは、水産資源を確保するため、追払い等の対策が実施される一方、希少な渡り鳥であり保護を徹底すべきとの声もあり、保護を考慮しつつ被害対策を行う必要があるが、諏訪湖におけるカワアイサについては、学術的な調査が進んでおらず、正確な生態(行動、食性及び捕食量など)が不明確なまま、有効な対策を模索する状況が続いていることから、正確な生態を把握し、有識者とも連携しながら有効な被害対策を構築する必要がある。 ・現在、6時から18時まで追払い対策を講じているが、これまでの調査で日没以降も採餌行動を行っていることが判明したため、把握できていない21時～2時の間の行動調査が必要である。			
	内容 (変更後の内容)	○令和5年度行動調査(採餌・休息等) カワアイサの夜間から深夜(21時～2時)における行動とねぐらの位置について調査を行い、有識者とも連携しながら対策構築を進める。 1) 赤外線サーマル暗視スコープを利用し、21時から2時にかけての諏訪湖における行動を把握する。 ・把握調査は2月に1回実施。 ・定点を設け、採餌行動及びねぐら入り行動を記録する。 2) 夜間の「ねぐら」への飛行行動を追跡し、特定されていない「ねぐら」の位置を特定する。 ・移動する群れを追跡し、ねぐらを特定する。 ・特定したねぐらの位置や状況から、ねぐらにおける追い払い対策(テープ張り、テグス張り等)の実施可否を検討する。 ※ ねぐらでの追い払いにより、諏訪湖への飛来数減少を想定。 (餌場+安全なねぐら=飛来 → 餌場+安全でないねぐら=飛来数減少) 3) 調査結果をとりまとめ、より効果的な追い払い等の対策構築を進める。 ① 委託業者から調査成果の提出。 ② 委託業者、有識者、地域振興局による検討会を開催し、調査結果の共有と検証、対策検討を行う。			
事業期間	令和5年10月		～	令和6年3月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	調査委託料	夜間から深夜における行動調査(採餌・休息、ねぐら位置等)	946,000		
	合計		946,000		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	効果的追い払い対策の提案		1件	1件	● 達成
					○ 一部達成
事業実績・成果	・調査により21時～2時頃までのカワアイサの行動を把握した。 ・結果、夜間においても採餌を行っていること、特定のねぐらを持たず湖面にて睡眠行動をとっていることが判明。 ・調査結果を基に関係者(諏訪湖漁業協同組合、信州大学理学部付属諏訪臨湖実験所、長野県水産試験場諏訪支場)による対策検討会を開催し、対策の検討と諏訪湖漁協に対し対策提案を行った。 ・具体的提案内容は「継続した追い払いの実施」「レジャー用モーターボートを活用した追い払いの実施」「漁協以外の関係者(釣舟組合等)による追い払いの実施」等。				
	今後の方向性	カワアイサの生息状況を引き続き調査するとともに、生息数が増加傾向にあるカワウの動向を注視していく。			